

第50回



The 50th Annual Meeting  
of Japanese Association  
for Experimental Animal  
Technologists

# 日本実験動物 技術者協会総会

## ～小江戸川越2016～

The 50th Annual Meeting of Japanese Association for  
Experimental Animal Technologists

プログラム

メインテーマ > コミュニケーション

会期 平成28年9月29日(木)～10月1日(土)

会場 ウェスタ川越 〒350-1124 埼玉県川越市新宿町1-17-17

大会長 鵜飼 学

〔慶應義塾大学医学部  
動物実験センター〕

副大会長 江藤 智生

〔公益財団法人  
実験動物中央研究所〕

実行委員長 上條 信一

〔株式会社ライフイル〕

### 参加者の皆様へ

今大会は皆様にリラックスした雰囲気の中、ヒザをまじえて意見交換、情報交換を行って頂きたいと考えておりますので、ノーネクタイ、カジュアルな服装でのご参加を呼びかけております。

当日はスタッフも軽装で対応させていただきますのでご了承下さい。

# 第 50 回 日本実験動物技術者協会総会

## 開催案内

会 期 平成 28 年 9 月 29 日 (木)、30 日 (金)、10 月 1 日 (土)

会 場 ウェスタ川越

〒350-1124 埼玉県川越市新宿町 1-17-17

<http://www.westa-kawagoe.jp/>

大会長 鶴飼 学 (慶應義塾大学 医学部 動物実験センター)

大会ホームページ <http://www.adthree.com/jaeat2016/>

## 第 50 回日本実験動物技術者協会総会

～小江戸川越 2016～

大会テーマ：コミュニケーション

今大会は皆様にリラックスした雰囲気の中、ヒザをまじえて意見交換、情報交換を行って頂きたいと考えておりますので、ノーネクタイ、カジュアルな服装でのご参加を呼びかけております。当日はスタッフも軽装で対応させていただきますのでご了承下さい。

### 1. 参加者の皆様へ

#### ◇受 付

- ・受付はウェスタ川越 2 階 ホワイエにて 9 月 29 日 (木) 14:30 より、9 月 30 日 (金) 8:20 より、10 月 1 日 (土) 8:40 より行います。
- ・事前登録された方は、講演要旨集に同封されたネームカードに必要事項をご記入の上、事前登録受付にお越し下さい。ネームホルダー等をお渡しします。
- ・当日登録の方は記名台に備え付けの参加受付票に必要事項をご記入の上、当日登録受付にて参加費を納入し、ネームカード、ネームホルダー、講演要旨集等をお受け取り下さい。また、懇親会に参加を希望される方は、懇親会費を納入して下さい。学生の方は、受付の際、学生証のご提示をお願いします。
- ・一旦納入された参加費および懇親会費は返却できません。あらかじめご了承下さい。
- ・会場内では、必ずネームカードをご着用下さい。ネームカードを確認できない場合は、入場をお断りすることがあります。
- ・会の進行を妨げるような行為が認められた場合は、退場して頂きます。あらかじめご了承下さい。

#### ◇総会参加費 (講演要旨集代を含む)

事前登録 会員 6,000 円 非会員 8,000 円 学生 4,000 円

当日登録 会員 8,000 円 非会員 10,000 円 学生 5,000 円

※講演要旨集のみをご希望の方は 1 冊 2,000 円にて販売いたします。

#### ◇懇親会

日 時 9月30日(金) 19:00～  
場 所 ラ・ボア・ラクテ  
〒350-1123 埼玉県川越市脇田本町 22-5  
参加費 事前申込 6,000円 当日申込 8,000円

#### ◇サテライトアフタヌーンセミナー

～ IACUC セミナー「動物実験委員会の現状とあるべき姿」～  
9月29日(木) 15:00～18:00 ふるってご参加下さい。

#### ◇ランチョンセミナー

「ランチョンセミナー参加券」は総合受付横にて、セミナー開催団体が配付いたします。  
配布時間:9月30日(金) 8:20～、10月1日(土) 8:40～  
なお、各参加券の配布は、先着順にて定員となり次第、終了させていただきます。あらかじめご了承ください。

#### ◇Well-being ひろば

皆さんの施設での動物福祉に関する悩みや取り組みを共有できる場として、「Well-being ひろば」を今年も開催します。是非お立ち寄り下さい。

#### ◇一般演題番号の表記について

- ・口頭発表の演題番号は A-1～A-9、B-1～B-9、C-1～C-9、D-1～D-9 と表記しました。A、B、C、D は会場名を表します。
- ・ポスターの発表演題番号は P-1～P-53 と表記しました。

#### ◇ポスター発表について

- ・ポスター会場は、1階 多目的ホール B・C・D です。
- ・ポスターの掲示期間は 9月30日(金) 11:00 から 10月1日(土) 12:00 までといたします。
- ・ポスターの設営は 9月30日(金) 9:00 から 11:00 といたします。
- ・10月1日(土) 9:00 から 10:00 まで、ポスター番号の奇数・偶数に分けてフリーディスカッションのコアタイムを設定いたします。

#### ◇実験動物関連器材展示

- ・1階 多目的ホール B・C・D にて各企業による器材展示を行います。ふるって足をお運び下さい。

#### ◇撮影・録音行為について

会場内は主催者の許可のない撮影・録音行為を禁止いたします。無許可の撮影・録音行為があった場合は、大会スタッフが記録媒体からのデータの消去等しかるべき処置を執らせて頂きます。ただし、ポスター発表については、発表者の許可を得た場合に限り、写真撮影によって発表内容を記録できるものとします。

何卒、趣旨をご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。

#### ◇クローク

1階 第3会議室にクロークを設けております。お預かりの時間は、9月30日（金）8:20～18:30、10月1日（土）8:40～15:30とさせていただきます。お荷物の引き取り忘れがないようお願いいたします。

なお、9月30日（金）に行われる懇親会は、懇親会会場にてクロークを設けます。お荷物はウェスタ川越から必ず移動させていただきますようお願い申し上げます。

#### ◇駐車場

利用時間：24時間

利用料金：入庫後1時間無料 以後 60分/200円

ご注意:ウェスタ川越の公共施設専用駐車場と隣接するユニクス川越専用駐車場はルールが異なります。公共施設専用駐車場はユニクス川越で買い物しても割引はできません。

また駐車台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用下さい。

#### ◇呼び出し

会場内での呼び出しは行いません。総合受付の案内板をご利用下さい。

#### ◇携帯電話のご利用について

会場内での携帯電話の使用はご遠慮下さい。会場内ではマナーモードに設定するか、電源をお切り下さい。

#### ◇Wi-Fiの利用について

各会場に、Wi-Fiのパスワードを掲示します。同時に多くの方の利用によるスピード低下、またセキュリティに関しては保証しかねますので、ご了承の上ご使用下さい。

## 2. 特別講演、川越記念講演、教育講演、第50回記念企画、シンポジウム、サテライトセミナー、ワークショップの演者の方へ

#### ◇発表準備および発表方法

- ・液晶プロジェクターによるPC発表のみです。ノートパソコンおよび液晶プロジェクターは会場で用意いたしますが、ご自身のノートパソコンをお持ち頂いても結構です。ただし、接続ケーブルはVGA端子（ミニD-Sub15ピン）のみとなっておりますので、変換コードはご持参下さい。
- ・大会本部で用意するノートパソコンはWindows PC（Windows7）です。プレゼンテーション用のアプリケーションはPowerPoint2010です。
- ・Macintoshをご利用になりたい方は、プロジェクターに出力できるコネクタをご持参下さい。
- ・お持ち込み頂けるメディアは、USBフラッシュメモリのみです。フロッピーディスクやCD、MOは受け付けておりませんのでご注意下さい。

### 3. 一般演題口頭発表者の方へ

#### ◇発表準備および発表方法

- ・液晶プロジェクターによる PC 発表のみです。ノートパソコンおよび液晶プロジェクターは大会本部で用意いたします。
- ・大会本部で用意するノートパソコンは、Windows PC (Windows 7) です。プレゼンテーション用のアプリケーションは PowerPoint2010 です。Macintosh はご利用頂けません。
- ・お持ち込み頂けるメディアは、USB フラッシュメモリのみです。フロッピーディスクや CD、MO は受け付けておりませんのでご注意ください。USB フラッシュメモリには発表データのファイルのみを保存して頂き、ファイル名は講演番号と発表者名を記載下さい。

例) B-1 川越 太郎

#### ◇発表データ受付

- ・各会場前の PC データ受付の PC 受付スタッフに USB フラッシュメモリにて発表用ファイルをお渡し下さい。ファイルをパソコンにコピー後、USB フラッシュメモリはその場で返却します。

発表データ受付時間: A-1～A-3、B-1～B-3、C-1～C-3、D-1～D-3 は各会場前の PC 受付に 9 月 30 日 (金) 8:30 までにお持ち下さい。A-4～A-9、B-4～B-9、C-4～C-9、D-4～D-9 は各会場前の PC 受付に 9 月 30 日 (金) 9:30 までにお持ち下さい。

ご発表終了後、大会事務局が責任を持ってお預かりした発表用ファイルをすべて消去いたします。

#### ◇データ作成時の注意点

- ・フォントは文字化けを防ぐため、下記のフォントにて作成して下さい。

日本語：MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝

英語：Century、Century Gothic、Times New Roman

#### ◇動画その他データを使用する場合

- ・動画やアニメーションは、発表時の誤作動の原因になることもありますので、できるだけ使用を避けて下さい。  
やむをえず動画データを使用する場合は、発表データ受付の動作確認用の PC にて発表データの確認を必ず行って下さい。
- ・発表データに他のデータ（静止画・動画・グラフ等）をリンクさせている場合は、必ず他のデータも保存して頂き、事前に動作確認をお願いいたします。

#### ◇発表時間

- ・発表するセッションの開始 10 分前までに、会場に集合下さい。
- ・発表予定時刻の 10 分前、もしくは前の演者の発表が始まりましたら、次演者席にご着席下さい。
- ・発表時間は口演 8 分、質疑応答 2 分の計 10 分です。
- ・発表開始から 8 分・10 分にそれぞれベルが 1 回鳴ります。
- ・予定時間を超過する場合は途中で中断して頂く事もあります。時間厳守をお願いいたします。

※パソコンのトラブルにより映像の投影が不可能となりましても事務局では責任を負いかねます。また発表時間の延長はできませんのであらかじめご了承下さい。

## 4. ポスター発表者の方へ

### ◇発表方法

- ・フリーのプレゼンテーションおよびディスカッションとします。座長は設けませんので、ポスター掲示期間に随時参加者に対してプレゼンテーションおよびディスカッションをして下さい。また 10 月 1 日（土）9:00～10:00 をポスターディスカッションのコアタイムとしますので、ポスター発表者の方はこの時間帯は必ずポスターの前で待機して下さい。
- ・ポスター会場は、1 階多目的ホール B・C・D です。ポスターの掲示期間は 9 月 30 日（金）11:00～10 月 1 日（土）12:00 といたします。  
掲 示 準 備 9 月 30 日（金） 9:00～11:00  
掲 示 期 間 9 月 30 日（金）11:00～18:00  
                  10 月 1 日（土） 9:00～12:00  
コアタイム 10 月 1 日（土） 9:00～10:00  
    ポスター番号奇数グループ（P1、P3、P5 …）9:00～9:30  
    ポスター番号偶数グループ（P2、P4、P6 …）9:30～10:00  
撤 去 作 業 10 月 1 日（土）12:00～14:00  
※10 月1 日（土）14:00 以降も掲示されているポスターは総会本部にて処分させていただきます。

### ◇ポスター作製要領

- ・1 演題あたり、縦 210cm×横 90cm のポスターボードをご用意いたします。ポスターは上から 180cm 以内で使用して下さい。
- ・最上段左側に演題番号札（20cm × 20cm）が入りますので、この部分は空けて下さい。
- ・演題名、発表者名（発表者の前に○印）、所属機関名を上部に記載して下さい。
- ・本文の文字は離れた位置からでも十分読み取れる大きさにして下さい（文字の大きさは 16 ポイント以上、ゴシックフォント、また、全体として字間を詰めて行間を空けることを推奨します）。
- ・演題番号札、掲示用チェスピンはポスター発表会場に用意いたします。ガムテープ、両面テープは使用しないで下さい。

## 5. 発言者の方へ

- ・予めマイクの前でお待ち下さい。
- ・発言は座長の許可を得た後、所属と氏名を述べてから発言して下さい。
- ・座長の指示に従わない場合には、退席して頂きます。

## 6. 座長の方へ

- ・担当セッションの 15 分前までに、次座長席にご着席下さい。
- ・一般演題口頭発表では、発表時間は口演 8 分、質疑応答 2 分の計 10 分です。発表開始から 8 分・10 分にそれぞれベルが 1 回鳴ります。1 演題 10 分の範囲内で活発な討論が行われますよう、進行のほどよろしくお願ひします。
- ・以降のセッションに影響が出ないよう時間厳守でお願いします。

## 7. 理事・評議員の方へ

- ・理事会は 9月29日(木) 13:30~16:30 2階 D会場にて開催いたします。
- ・評議員会 9月30日(金) 11:50~12:50 1階 B会場にて開催いたします。

## 8. 器材展示の方へ

- ・器材展示は 1階 多目的ホール B・C・Dで行います。
- ・展示物搬入は、9月29日(木) 15:00~18:00の間に、一般搬入口より行って下さい。
- ・展示時間は、9月30日(金) 9:00 から 10月1日(土) 12:00までです。
- ・器材展示関係者の方におかれましても、当日会場内では必ずネームカードを着用して下さい。
- ・展示物搬出は、10月1日(土) 12:00~13:00の間に、一般搬入口より行って下さい。



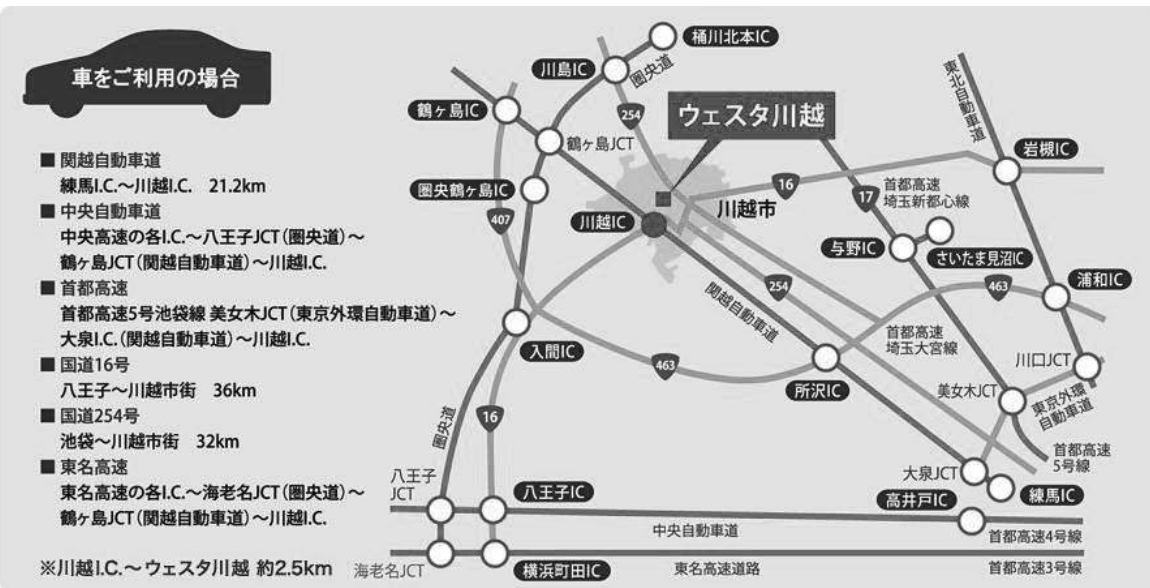
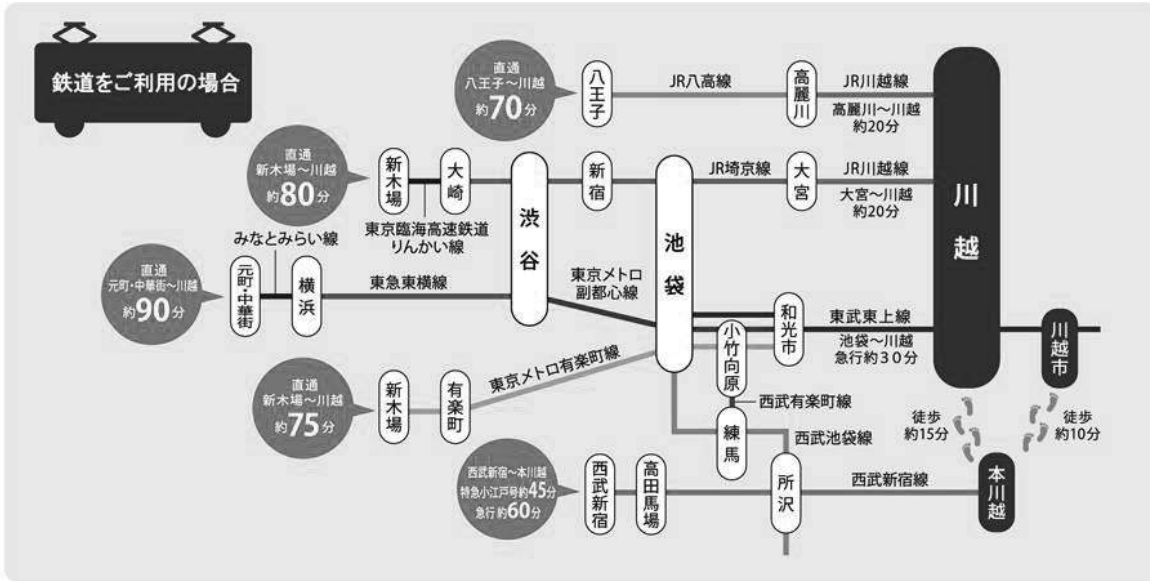
# 会場アクセス



## 所在地

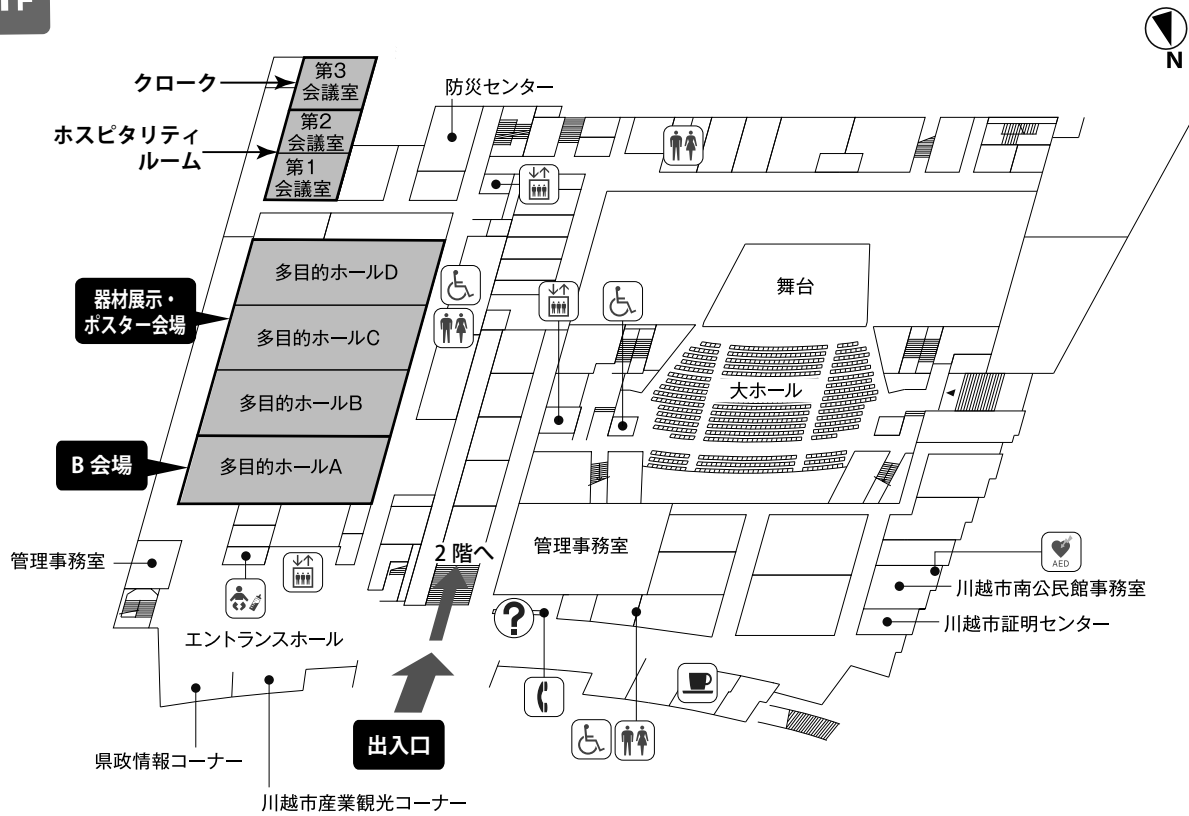
埼玉県川越市新宿町1-17-17

- JR川越線、東武東上線「川越駅」西口より徒歩約5分
- 西武新宿線「本川越駅」より徒歩約15分
- （本川越駅よりバスをご利用の場合）
- 西武バス乗り場 ①番
  - \* 新所02、本55 系統「川越駅西口」下車 徒歩5分
  - \* 本53、本54 系統「ウエスタ川越前」下車 すぐ
- 西武バス乗り場 ②番
  - \* 川越35、川越35-1 系統「ウエスタ川越前」下車 すぐ

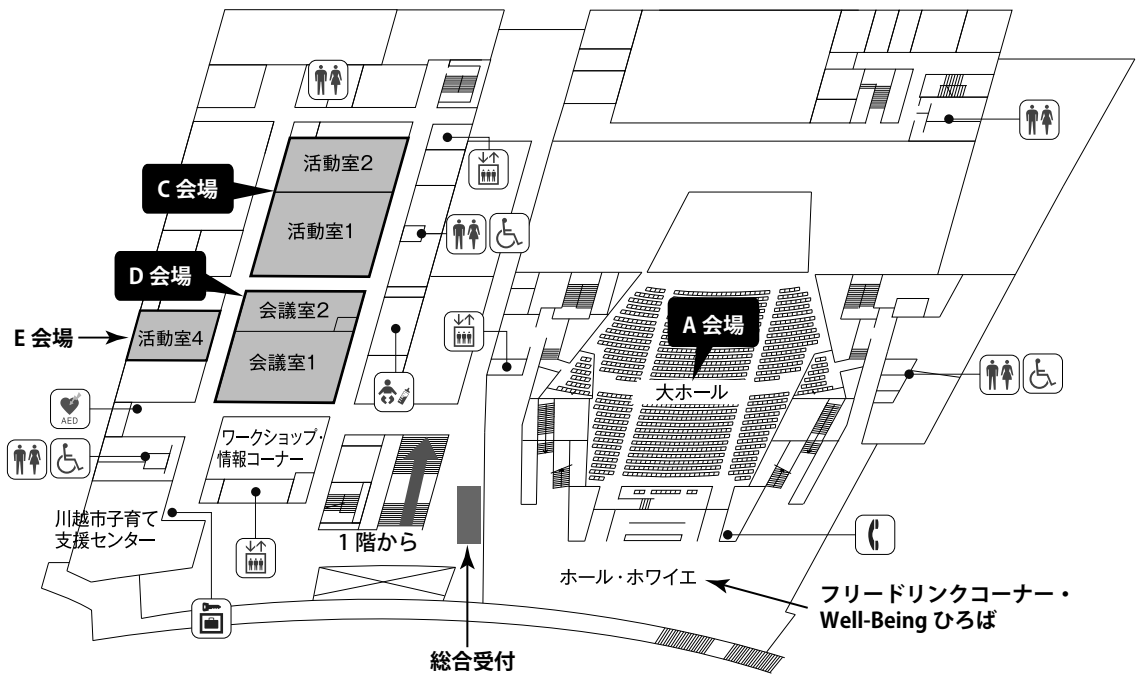


# 会場案内図

1F



2F



# 第50回日本実験動物技術者協会総会 日程表

## 9月29日(木)

文化芸術振興施設			交流支援施設				市民活動・生涯学習施設	
2F			1F				2F	
エントランス	ホワイエ	大ホール	多目的ホール		第1会議室	第2会議室	活動室1,2	会議室1, 2
受付	Well-being	A会場	B会場	ポスター展示	器材展示	ホスピタリティルーム	C会場	D会場

14:00  
15:00  
16:00  
17:00  
18:00

開場 14:30 14:30-18:00
受付

開場 14:30	13:30-16:30 理事会
15:00-18:00 サテライト アフタヌーン セミナー IACUCセミナー	

## 9月30日(金)

文化芸術振興施設			交流支援施設				市民活動・生涯学習施設		ラ・ポア・ラクテ
2F			1F				2F		ー
エントランス	ホワイエ	大ホール	多目的ホール		第1会議室	第2会議室	活動室1,2	会議室1, 2	ペガ
受付	Well-being	A会場	B会場	ポスター展示	器材展示	ホスピタリティルーム	C会場	D会場	懇親会

09:00  
10:00  
11:00  
12:00  
13:00  
14:00  
15:00  
16:00  
17:00  
18:00  
19:00  
20:00  
21:00

開場 8:20		
8:20-18:00 受付	開会の辞 9:00-10:30 一般演題	Well-being ひろば 10:30-18:00 10:40-11:40 記念講演
	13:10-15:10 第50回総会 各種表彰式 業界アワード 記念表彰	
	15:10-16:10 特別講演	
	16:10-18:25 シンポジウム 1	
閉会の辞		

開場 8:20				
9:00-10:30 一般演題	9:00-11:00 ポスター 掲示準備	9:00-18:00 器材展示	9:00-18:00 ホスピタリティ ルーム 日本チャールス・ リバー株式会社	9:00-18:00 ホスピタリティ ルーム 株式会社 夏目製作所
	11:00-18:00 ポスター展示			
	11:50-12:50 評議員会			

開場 8:20	
9:00-10:30 一般演題	9:00-10:30 一般演題
10:40-12:10 休憩10分 教育講演 関東支部 福祉部会共催	10:40-12:10 休憩10分 ワークショップ 疾病
12:10-13:10 ランチョンセミナー 株式会社 レナテック	12:10-13:10 ランチョンセミナー 九動 株式会社

19:00-21:00 懇親会
--------------------

## 10月1日(土)

文化芸術振興施設			交流支援施設				市民活動・生涯学習施設		
2F			1F				2F		
エントランス	ホワイエ	大ホール	多目的ホール		第1会議室	第2会議室	活動室1,2	会議室1, 2	活動室4
受付	Well-being	A会場	B会場	ポスター展示	器材展示	ホスピタリティルーム	C会場	D会場	E会場

09:00  
10:00  
11:00  
12:00  
13:00  
14:00  
15:00

開場 8:40		
8:40-15:30 受付	Well-being ひろば 9:00-12:00	50回 記念企画 09:00-12:00
		13:15-15:15 シンポジウム 2 関東支部 REG部会共催
閉会の辞		

開場 8:40				
	9:00-9:30 コアタイム	9:00-12:00 器材展示	9:00-15:00 ホスピタリティ ルーム 日本チャールス・ リバー株式会社	9:00-15:00 ホスピタリティ ルーム 株式会社 夏目製作所
	9:30-10:00 コアタイム			
10:00-11:30 ワークショップ 中動物	10:00-12:00 ポスター提示			
		12:00-13:00 ランチョンセミナー 有限会社 葛生運送		
	13:15-15:15 シンポジウム 3 環境研究会 共催			

開場 9:00		
10:00-11:30 ワークショップ 手技	10:00-11:30 ワークショップ サル	
12:00-13:00 ランチョンセミナー 有限会社 新東洋製作所	12:00-13:00 ランチョンセミナー 株式会社 OSGコーポレーション	12:00-13:00 支部交流会
13:30-15:00 関連集会 実験動物の ウェルビーイング セミナー		

## 第 50 回 日本実験動物技術者協会総会 プログラム

### 第 50 回 日本実験動物技術者協会 総会

9 月 30 日 (金) 13:10-15:10 A 会場

日本実験動物技術者協会総会

#### 各種表彰

1. 第 15 回顕彰

鈴木 達夫 (日本臨床環境医学会理事長)

2. 第 22 回実験動物技術功労賞

上條 信一 (株式会社ライフィル)

3. 第 7 回実験動物福祉奨励賞

「ILAR の指針に準拠した飼育環境への改善(金網床ケージにおけるトレイおよび床敷を用いた飼育)」  
持田 隆信、各務 進、横山 悦子、佐塚 絢香、伊藤 由香、寺田 貴子、佐伯 雄輔、竹原 広  
(公益財団法人食品農医薬品安全性評価センター)

4. 第 19 回業界アワード

日本実験動物協同組合賞

「繁殖困難なマウス系統への生殖工学技術の応用」

梅野 智子<sup>1,2</sup>、福本 紀代子<sup>1,2</sup>、春口 幸恵<sup>1,2</sup>、近藤 朋子<sup>1,2</sup>、竹下 由美<sup>1,2</sup>、中牟田 裕子<sup>1,2</sup>  
宮川 あい<sup>1,2</sup>、岩本 まり<sup>1</sup>、高橋 郁<sup>1</sup>、坂本 亘<sup>1</sup>、中川 佳子<sup>1</sup>、山本 由妃<sup>1</sup>、土山 修治<sup>1</sup>  
竹尾 透<sup>1</sup>、中潟 直己<sup>1</sup>

(1 熊本大学 生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、2 九動株式会社)

#### 日本実験動物技術者協会創立 50 周年記念式典

### 特別講演

9 月 30 日 (金) 15:10 - 16:10 A 会場

座長 前田 典彦 (京都大学 霊長類研究所)

#### 想像するちから：チンパンジーが教えてくれた人間の心

松沢 哲郎 (京都大学 高等研究院・京都大学 霊長類研究所)

### 川越記念講演

9 月 30 日 (金) 10:40 - 11:40 A 会場

座長 鶴飼 学 (慶應義塾大学)

#### 動物咬傷と感染症について

加來 浩器 (防衛医科大学校 防衛医学研究センター)

### 教育講演 (関東支部実験動物福祉部会共催)

9 月 30 日 (金) 10:40 - 12:10 C 会場

座長 藤平 篤志 (日本獣医生命科学大学)

#### マウス社会性の機能解明

菊水 健史 (麻布大学 獣医学部)

## 第 50 回 記 念 企 画

10 月 1 日 (土) 09:00 - 12:00 A 会場

座長 坂本 雄二 (千寿製薬株式会社)  
中野 洋子 (アステラス製薬株式会社)

テーマ「動物実験を市民目線で伝えるためには」

動物実験の社会的理解を得るためのコミュニケーションのあり方研究について

笠井 憲雪 (東北大学)

社会における研究者の情報発信の役割ーよりよい双方向コミュニケーションのためにー

伊勢田 哲治 (京都大学)

動物実験に関する市民と専門家へのアンケートの検討

打越 綾子 (成城大学)

## シンポジウム 1

9 月 30 日 (金) 16:10 - 18:25 A 会場

座長 上條 信一 (株式会社ライフィル)  
松浦 豊和 (株式会社中外医科学研究所)

テーマ「コミュニケーション」

コミュニケーション

上條 信一 (株式会社ライフィル)

人を育てる

相原 孝夫 (人事・組織コンサルタント、株式会社 HR アドバンテージ)

動物ケアを確実にを行うための獣医師としてのコミュニケーション

渡邊 利彦 (中外製薬株式会社)

実験動物技術指導員に求めるもの

大和田 一雄 (日本実験動物協会)

日本実験動物技術者協会 関東支部活動ー指導者育成プログラムー

松浦 豊和 (日本実験動物技術者協会 関東支部 指導者育成委員長)

「指導者育成プログラム」に参加して

西中 栄子 (実験動物中央研究所)

イヌ実技講習会での体験及びこれからの技術者教育

杉本 恭平 (株式会社ボゾリサーチセンター)

## シンポジウム 2 (関東支部 REG 専門部会共催)

10 月 1 日 (土) 13:15 - 15:15 A 会場

座長 玉里 友宏 (日本チャールス・リバー株式会社)  
野田 義博 (東京都健康長寿医療センター研究所)

テーマ「実験動物における遺伝子改変技術の実際とその可能性」

マウスにおける遺伝子組換え動物作製の実実際とその可能性

高橋 智 (筑波大学)

マーマセットにおける遺伝子組換え動物作製の実実際とその可能性について

富岡 郁夫 (信州大学)

医用ブタにおける遺伝子組換え動物作製の実実際とその可能性について

佐藤 正宏 (鹿児島大学)

## シンポジウム3 (日本実験動物環境研究会共催)

10月1日(土) 13:15 - 15:15 B会場

座長 大和田 一雄 (ふくしま医療機器産業推進機構)  
佐加良 英治 (兵庫医科大学)

### テーマ「実験動物と環境」

#### 適正環境と背景

小原 徹 (鹿児島大学)

#### マイクロ環境とマクロ環境

吉田 一也 (ダイダン株式会社)

#### 環境エンリッチメント

鈴木 真 (沖縄科学技術大学院大学)

#### 実験動物と体内環境

野津 量子 (実験動物中央研究所)

## サテライトアフタヌーンセミナー

9月29日(木) 15:00 - 18:00 C会場

### テーマ IACUC セミナー「動物実験委員会の現状とあるべき姿」

オーガナイザー：小田 晃司 (関東支部動物実験委員長)  
総合司会：大羽 沙弥佳 (関東支部動物実験副委員長)

オープニング 今回の「IACUC セミナー」について  
小田 晃司 (関東支部動物実験委員会)

#### 第I部 動物実験委員会の現状とあるべき姿に向けての提言

司会：上條 信一、小田 晃司

#### 動物実験委員会の変遷と今後

笠井 一弘 (有限会社リジョイス)

#### 製薬企業におけるPAMの実施例

高井 了 (中外製薬株式会社)

#### 動物実験委員会の活用 (機関外嘱託委員の立場から)

上條 信一 (株式会社ライフィル)

#### IACUC 連絡協議会設立にあたって

櫻井 康博 (株式会社武田ラビックス)

#### 第II部 動物実験委員会のあるべき姿を語ろう!

ファシリテーター：笠井 一弘、小田 晃司

#### 登壇者

袴田 陽二 (日本獣医生命科学大学)	高井 了 (中外製薬株式会社)
宮田 桂司 (アステラス製薬株式会社)	酒井 隆敏 (日本エスエルシー株式会社)
小田 晃司 (関東支部動物実験委員長)	櫻井 康博 (株式会社武田ラビックス)
鈴木 真 (沖縄科学技術大学院大学)	上條 信一 (株式会社ライフィル)

#### クロージング

上條 信一 (株式会社ライフィル)

## ワークショップ 疾病

9月30日（金）10:40-12:10 D会場

テーマ「実験小動物の感染症の現状・自然発生性症例」

マウス・ラットの感染性疾患の現状

林元 展人（実験動物中央研究所）

マウス・ラットの非感染性疾患の現状

保田 昌彦（実験動物中央研究所）

## ワークショップ 中動物

10月1日（土）10:00 - 11:30 B会場

イヌ生産施設における繁殖を中心とした動物管理（ケア）について

末廣 裕貴（北山ラベス株式会社）

ブタの飼育管理やトレーニング方法等の御紹介

林 直木（オリエンタル酵母工業株式会社）

マーシャル社におけるソシアライゼーションと馴化

安倍 宏明（マーシャル・バイオリソーシス・ジャパン株式会社）

## ワークショップ 手技

10月1日（土）10:00 - 11:30 C会場

テーマ「実験動物とのコミュニケーションーストレス軽減のための馴化処置と手技を身につけるー」

小動物の実験処置に対する不安軽減への取り組みー動物入荷から実験前までの処置馴化ー

根津 義和（第一三共株式会社）

技術指導側が抱える問題点

前田 宣俊（新潟大学）

## ワークショップ サル

10月1日（土）10:00 - 11:30 D会場

サル類の健康管理とバイオセーフティ

小野 文子（千葉科学大学）

第III世代サルとの付き合い方（手渡し馴化の影響）

佐久間 善仁（株式会社LSIメディエンス）

## 実験動物のウェルビーイングセミナー（株式会社アドスリー共催）

10月1日（土）13:30 - 15:00 D会場

テーマ「『ILAR 指針』をさらに深く理解するためにー成果基準（パフォーマンス・スタンダード）の立案と実践による動物実験の適正化実験動物と環境」

鍵山 直子（実験動物中央研究所）

※別途受講料 5,000 円（書籍代込）がかかります。また、別途受講申し込みが必要になります。

詳しくは <https://www.adthree.com/ILAR/> をご参照下さい。

## ランチオンセミナー

株式会社レナテック 9月30日(金) 12:10 - 13:10 C会場

自動洗浄機能付き高負荷用光触媒脱臭装置を使った室内環境改善の取り組み  
岸 成好(株式会社レナテック)

九動株式会社 9月30日(金) 12:10 - 13:10 D会場

熊本地震におけるCARDの被害状況と対応  
「4万5千匹のマウス、100万個の凍結胚、3万本の精子はこうして守られた!」  
中潟 直己(熊本大学 生命資源研究・支援センター)

有限会社葛生運送 10月1日(土) 12:00 - 13:00 B会場

実験動物輸送について  
渡辺 康(有限会社葛生運送)

有限会社新東洋製作所 10月1日(土) 12:00 - 13:00 C会場

動物飼育ケージ、及び機器類の製品紹介  
金子 岳(有限会社新東洋製作所)

株式会社OSGコーポレーション 10月1日(土) 12:00 - 13:00 D会場

微酸性水の基礎と使用事例  
竹内 正浩(株式会社OSGコーポレーション)

## ホスピタリティルーム

日本チャールス・リバー株式会社

9月30日(金) 09:00 - 18:00 10月1日(土) 09:00 - 15:00 第1会議室

株式会社夏目製作所

9月30日(金) 09:00 - 18:00 10月1日(土) 09:00 - 15:00 第2会議室

## Well-being ひろば

9月30日(金) 10:30 - 18:00 / 10月1日(土) 09:00 - 12:00

A会場(大ホール)前ホワイエ

## 実験動物器材・商品の展示会

9月30日(金) 10:00 - 18:00 / 10月1日(土) 09:00 - 12:00

多目的ホール B・C・D



## 一般演題 口頭発表 9月30日(金) A会場

### 管理・施設

09:00 - 09:30 座長 遊佐 寿恵 (福島県立医科大学)

**A-1 熊本大学生命資源研究・支援センターにおける防災対策について**

- 岩本 まり<sup>1</sup>、高橋 郁<sup>1</sup>、山下 紀代子<sup>1,2</sup>、春口 幸恵<sup>1,2</sup>、近藤 朋子<sup>1,2</sup>、竹下 由美<sup>1,2</sup>、中牟田 裕子<sup>1,2</sup>、梅野 智子<sup>1,2</sup>、石田 恵理<sup>1,2</sup>、坂口 香織<sup>1,2</sup>、土山 修治<sup>1</sup>、坂本 亘<sup>1</sup>、中川 佳子<sup>1</sup>、竹尾 透<sup>1</sup>、中潟 直己<sup>1</sup>  
1 熊本大学 生命資源研究・支援センター、2 九動株式会社

**A-2 熊本地震による熊本大学の全動物実験施設 (CARD 以外) の被害状況とその後の対応**

- 鳥越 大輔、荒木 喜美、竹尾 透、中潟 直己  
熊本大学 生命資源研究・支援センター

**A-3 熊本地震で得られた教訓について**

- 中潟 直己、鳥越 大輔、竹尾 透  
熊本大学 生命資源研究・支援センター

09:30 - 10:00 座長 若井 淳 (岩手医科大学)

**A-4 熊本大学生命資源研究・支援センターで保管している凍結胚・精子への熊本地震の影響**

- 高橋 郁<sup>1</sup>、岩本 まり<sup>1</sup>、山下 紀代子<sup>1,2</sup>、春口 幸恵<sup>1,2</sup>、近藤 朋子<sup>1,2</sup>、竹下 由美<sup>1,2</sup>、中牟田 裕子<sup>1,2</sup>、梅野 智子<sup>1,2</sup>、石田 恵理<sup>1,2</sup>、坂口 香織<sup>1</sup>、土山 修治<sup>1</sup>、坂本 亘<sup>1</sup>、中川 佳子<sup>1</sup>、竹尾 透<sup>1</sup>、中潟 直己<sup>1</sup>  
1 熊本大学 生命資源研究・支援センター、2 九動株式会社

**A-5 熊本地震におけるマウスバンクデータ保全の取り組み**

- 土山 修治、中潟 直己  
熊本大学 生命資源研究・支援センター 資源開発分野

**A-6 スノコ自動洗浄システムの導入による作業効率の向上**

- 黒田 美穂<sup>1,2</sup>、河本 育士<sup>1</sup>、中川 孝博<sup>1</sup>、西脇 亘<sup>1</sup>、岡本 卓士<sup>2</sup>、渡邊 朋和<sup>3</sup>、土屋 英明<sup>1</sup>  
1 滋賀医科大学 動物生命科学研究センター、2 株式会社ケー・エー・シー、3 株式会社エーテック

10:00 - 10:30 座長 武智 眞由美 (島根大学)

**A-7 精製工程が不要な市販 DNA 抽出キットを使用した *Helicobacter* 属菌 PCR 検査法の検討**

- 内田 立樹<sup>3</sup>、山本 真史<sup>1</sup>、山本 美保<sup>4</sup>、石田 智子<sup>1</sup>、保田 昌彦<sup>2</sup>、森田 華子<sup>1</sup>、田中 舞<sup>1</sup>、石山 沙也香<sup>1</sup>、和仁 睦<sup>1</sup>、林元 展人<sup>1</sup>  
1 公益財団法人実験動物中央研究所 ICLAS モニタリングセンター  
2 公益財団法人実験動物中央研究所 病理解析センター、3 株式会社ジェー・エー・シー  
4 WDB 株式会社

**A-8 新生子の里親哺育法による清浄化の試み**

- 遊佐 寿恵<sup>1</sup>、丹治 静保<sup>1</sup>、若井 淳<sup>2</sup>、小澤 和典<sup>1,3</sup>、関口 美穂<sup>1,3</sup>、片平 清昭<sup>3</sup>  
1 福島県立医科大学 医学部 実験動物研究施設  
2 岩手医科大学 歯歯薬総合研究所 実験動物医学研究部門  
3 福島県立医科大学 医療-産業 TR センター 動物実験分野

**A-9 サル類飼育施設害虫対策における総合防除管理の有効性**

- 乾 守裕<sup>1</sup>、王 振吉<sup>2,3,4</sup>、廣江 猛<sup>2,3</sup>、矢田 徹<sup>2,3</sup>、伊藤 昭光<sup>2,3</sup>、浦野 徹<sup>2,3</sup>  
1 株式会社ケー・エー・シー、2 自然科学研究機構 生理学研究所、3 自然科学研究機構 動物実験センター  
4 総合研究大学院大学 生理学研究所

## 一般演題 口頭発表 9月30日(金) B会場

### 管理・施設／微生物／モデル動物／動物福祉

09:00 - 09:30 座長 高橋 智輝 (岩手医科大学)

**B-1 熊本地震で活かされた動物実験施設における省エネ技術**

○縄田 浩之<sup>1,2</sup>、福田 静男<sup>1,2</sup>、北野 康廣<sup>1,2</sup>、北野 浩<sup>1,2</sup>、鳥越 大輔<sup>1</sup>、中潟 直己<sup>1</sup>

1 熊本大学 生命資源研究・支援センター 動物資源開発研究施設、2 株式会社ファビルス

**B-2 動物実験施設の光熱水料節約方法について**

橋川 美子<sup>1</sup>、福田 肇<sup>2</sup>、小藪 望<sup>1</sup>、梶川 幸子<sup>1</sup>、○廣瀬 忠昭<sup>1</sup>、田島 優<sup>1</sup>

1 大阪大学 医学系研究科 附属最先端医療イノベーションセンター 中大動物実験施設、

2 一般財団法人ふくしま医療機器産業推進機構

**B-3 施設利用方法に関するビデオ製作**

○谷川 亜里紗<sup>1</sup>、渋谷 翔<sup>1</sup>、攝田 友香<sup>2</sup>、鍵山 壮一朗<sup>1</sup>、水野 洋子<sup>1</sup>、田島 優<sup>1</sup>、真下 知士<sup>1</sup>、岡本 明<sup>1</sup>

1 大阪大学医学部 附属動物実験施設、2 三協ラボサービス株式会社

09:30 - 10:00 座長 伊藤 恒賢 (山形大学)

**B-4 二酸化塩素ガスによる動物飼育室のクリーンアップ方法の検討**

○持田 隆信、各務 進、竹原 広、伊藤 圭一

公益財団法人食品農医薬品安全性評価センター

**B-5 高度封じ込め施設の構築に関する研究 (その2)**

**バイオクリーン・バイオセーフティ実験施設の特徴と概要**

○柳 博通、高橋 幹雄、天野 健太郎、谷 英明、日高 卓、山本 隼人、横山 大造、高志 学、沼中 秀一  
福島 一夫

株式会社竹中工務店

**B-6 熊本大学動物資源開発研究施設のマウス及びラット飼育室微生物モニタリング成績への地震の影響**

○中村 直子<sup>1</sup>、川辺 正等美<sup>1</sup>、崎尾 昇<sup>1</sup>、古島 志伸<sup>1,2</sup>、一村 憲児<sup>1,2</sup>、山内 寿十<sup>1,3</sup>、中潟 直己<sup>1</sup>、鳥越 大輔<sup>1</sup>

1 熊本大学 生命資源研究・支援センター、2 九動株式会社、3 アーク・リソース株式会社

10:00 - 10:30 座長 荒川 仁 (株式会社中外医科学研究所)

**B-7 老化動物の育成における飼養環境の検討**

○野田 義博<sup>1</sup>、根本(宮内) 妙子<sup>1</sup>、安西 尚子<sup>1,2</sup>、塚崎 祐大<sup>1,2</sup>、高橋 洋子<sup>1,2</sup>、遠藤 玉夫<sup>1</sup>

1 東京都健康長寿医療センター 研究所 実験動物施設、2 株式会社ケー・エー・シー

**B-8 糖尿病モデルマウスにおける適正な飼育環境の検討**

**—環境エンリッチメントの有用性と床敷き材を中心として—**

○山田 祐輝<sup>1</sup>、山口 一路<sup>1</sup>、富田 耕平<sup>1</sup>、高野 聡美<sup>2</sup>、六車 香織<sup>2</sup>、小木曾 昇<sup>2</sup>

1 株式会社ケー・エー・シー、2 国立長寿医療研究センター 実験動物管理室

**B-9 雌性カニクイザルの群飼育における各種エンリッチメントの効果**

○友成 悠葵、加藤 知晴、小杉 多恵、白井 朋美、阿波賀 祐治、松田 明久、高松 宏幸

株式会社浜松ファーマリサーチ

## 一般演題 口頭発表 9月30日(金) C会場

### 実験手技・代替／免疫／モデル動物／育種・遺伝／遺伝子操作・機能／行動

09:00 - 09:30 座長 野口 和浩 (熊本大学)

**C-1 ケージ交換におけるピンセットの導入と改良**

- 土井 修平<sup>1</sup>、竹田 アヤ香<sup>1</sup>、山階 維騎<sup>1</sup>、尾崎 公史<sup>1</sup>、忍 典昭<sup>2</sup>、幸田 敏明<sup>2</sup>  
1 三協ラボサービス株式会社、2 北海道大学 プラットフォーム

**C-2 新生児マウスの個体識別への入墨法の検討**

- 安西 尚子<sup>1,2</sup>、根本(宮内) 妙子<sup>1</sup>、高橋 洋子<sup>1,2</sup>、遠藤 玉夫<sup>1</sup>、野田 義博<sup>1</sup>  
1 東京都健康長寿医療センター 研究所 実験動物施設、2 株式会社ケー・エー・シー

**C-3 体内埋め込み式運動量計測装置 nano tag と従来型測定法の相関関係**

- 山本 あんな、藤平 篤志、金井 香央里、天尾 弘実  
日本獣医生命科学大学 実験動物学教室

09:30 - 10:00 座長 山田 高也 (鳥根大学)

**C-4 プロテアーゼ活性化型受容体 2 (PAR-2) アゴニストの唾液分泌促進作用と得られた唾液のサンプルとしての可能性**

- 佐藤 巧、藤平 篤志、天尾 弘実  
日本獣医生命科学大学 実験動物学教室

**C-5 マウスを用いるタンパク質経皮感作性試験における実験手法の簡便化**

- 木村 美恵、安達 玲子、近藤 一成  
国立医薬品食品衛生研究所

**C-6 NOG マウスにおけるヒト由来がん組織の移植と生着成績**

- 土橋 悠、岡田 綾、樋口 はづき、山本 裕子、小澤 和典、片平 清昭  
福島県立医科大学 医療-産業 TR センター

10:00 - 10:30 座長 後藤 一雄 (帝京大学 医療技術学部 臨床検査学科)

**C-7 NBRP-Rat におけるレポーター遺伝子導入ラットの遺伝的品質管理**

- 中西 聡、根小田 祐基、萩原 和美、山崎 賢一、庫本 高志  
京都大学大学院 医学研究科 附属動物実験施設

**C-8 スピードコンジェニック法にて作出した DBA/2-GFP マウス由来 iPS 細胞の樹立**

- 山本 直樹<sup>1</sup>、目加田 和之<sup>2</sup>、吉木 淳<sup>3</sup>  
1 藤田保健衛生大学 共同利用研究施設 分子生物学研究室、2 岡山理科大学 動物学科 動物資源学研究室  
3 理化学研究所 バイオリソースセンター 実験動物開発室

**C-9 明暗条件がマウスの行動に及ぼす影響**

- 内藤 佳津子<sup>1</sup>、上條 あけみ<sup>1</sup>、岩尾 佳代子<sup>1</sup>、秦野 伸二<sup>2</sup>  
1 東海大学 伊勢原研究推進部 生命科学統合支援センター、2 東海大学 医学部 基礎医学系 分子生命科学

## 一般演題 口頭発表 9月30日(金) D会場

### 繁殖・発生工学

09:00 - 09:30 座長 安齋 政幸 (近畿大学)

**D-1 京都大学ウイルス研における CRISPR/Cas9 を利用した遺伝子編集マウス作製実績**

○宮地 均<sup>1</sup>、北野 さつき<sup>1</sup>、伊藤 克彦<sup>2</sup>、生田 宏一<sup>1</sup>

1 京都大学 ウイルス研究所、2 京都大学大学院 医学研究科

**D-2 CRISPR-Cas システムによる flox マウスの作製—超過剰排卵誘起法を用いた凍結受精卵の利用—**

○中川 佳子<sup>1</sup>、佐久間 哲史<sup>2</sup>、矢中 規之<sup>3</sup>、山本 卓<sup>2</sup>、若松 和子<sup>1</sup>、山下 紀代子<sup>1,4</sup>、春口 幸恵<sup>1,4</sup>  
近藤 朋子<sup>1,4</sup>、竹下 由美<sup>1,4</sup>、中牟田 裕子<sup>1,4</sup>、梅野 智子<sup>1,2</sup>、土山 修治<sup>1</sup>、竹尾 透<sup>1</sup>、中潟 直己<sup>1</sup>

1 熊本大学 生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野

2 広島大学大学院 理学研究科 数理分子生命理学専攻 分子遺伝学研究室

3 広島大学大学院 生物圏科学研究科 食資源科学講座、4 九動株式会社

**D-3 超過剰排卵誘起法における IASe と hCG の投与間隔の検討**

○中牟田 裕子<sup>1,2</sup>、山下 紀代子<sup>1,2</sup>、春口 幸恵<sup>1,2</sup>、近藤 朋子<sup>1,2</sup>、竹下 由美<sup>1,2</sup>、梅野 智子<sup>1,2</sup>、石田 恵理<sup>1,2</sup>  
岩本 まり<sup>1</sup>、高橋 郁<sup>1</sup>、坂本 亘<sup>1</sup>、中川 佳子<sup>1</sup>、坂口 香織<sup>1</sup>、土山 修治<sup>1</sup>、竹尾 透<sup>1</sup>、中潟 直己<sup>1</sup>、

1 熊本大学 生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、2 九動株式会社

09:30 - 10:00 座長 日野 千紘 (旭川医科大学)

**D-4 多くのマウス系統で効果的な新しい過排卵誘起法**

○長谷川 歩未<sup>1</sup>、持田 慶司<sup>1</sup>、野田 義博<sup>2</sup>、遠藤 玉夫<sup>2</sup>、渡辺 元<sup>3</sup>、小倉 淳郎<sup>1</sup>

1 理化学研究所 バイオリソースセンター、2 東京都健康長寿医療センター、3 東京農工大学

**D-5 マウスの超過剰排卵誘発剤無償配布アンケート結果について**

○春口 幸恵<sup>1,2</sup>、山下 紀代子<sup>1,2</sup>、近藤 朋子<sup>1,2</sup>、竹下 由美<sup>1,2</sup>、中牟田 裕子<sup>1,2</sup>、梅野 智子<sup>1,2</sup>、石田 恵理<sup>1,2</sup>  
岩本 まり<sup>1</sup>、高橋 郁<sup>1</sup>、坂本 亘<sup>1</sup>、中川 佳子<sup>1</sup>、坂口 香織<sup>1</sup>、土山 修治<sup>1</sup>、竹尾 透<sup>1</sup>、中潟 直己<sup>1</sup>

1 熊本大学 生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、2 九動株式会社

**D-6 京都大学医学研究科附属動物実験施設におけるマウス SPF 化について**

○山根 知恵美、庫本 高志、浅野 雅秀

京都大学大学院 医学研究科 附属動物実験施設

10:00 - 10:30 座長 青砥 利裕 (株式会社特殊免疫研究所)

**D-7 ヘテロ個体による遺伝子改変マウスの大量作出**

○石田 恵理<sup>1,2</sup>、山下 紀代子<sup>1,2</sup>、春口 幸恵<sup>1,2</sup>、近藤 朋子<sup>1,2</sup>、竹下 由美<sup>1,2</sup>、中牟田 裕子<sup>1,2</sup>、梅野 智子<sup>1,2</sup>  
岩本 まり<sup>1</sup>、高橋 郁<sup>1</sup>、土山 修治<sup>1</sup>、中川 佳子<sup>1</sup>、坂本 亘<sup>1</sup>、坂口 香織<sup>1</sup>、竹尾 透<sup>1</sup>、中潟 直己<sup>1</sup>

1 熊本大学 生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、2 九動株式会社

**D-8 ラット生殖工学技術の支援業務化**

○日野 千紘、船越 洋

旭川医科大学 教育研究推進センター 動物実験技術支援部門

**D-9 ドライシッパー使用時に混入した夾雑物について**

○市川 寛子、川辺 敏晃、喜多 章太、柳 美穂

アーク・リソース株式会社

## 一般演題 ポスター発表

### 【掲 示】

9月30日(金) 11:00 - 10月1日(土) 12:00

【フリーディスカッションコアタイム】

10月1日(土) 奇数番号：09:00 - 09:30 / 偶数番号：09:30 - 10:00

### 管理・施設

- P-1 動物実験施設におけるラットのティザー病 (Tyzzer's disease) 発生の事例**  
○西野 進二、原田 正史  
大阪市立大学大学院 医学研究科 動物実験施設
- P-2 動物実験施設空調改修工事中のプレハブ飼育室での飼育管理—アンモニア濃度の対策—**  
○高橋 一彰、高良 綾子、飯田 純子、斉藤 美知子、河合 太郎、河野 憲二  
奈良先端科学技術大学院大学 遺伝子教育研究センター 動物実験施設
- P-3 京都薬科大学で開発した実験動物施設管理ソフト「BSRC-web」について**  
西川 哲<sup>1</sup>、○堀 翔太郎<sup>2</sup>、澤藤 航<sup>3</sup>、清水 何一<sup>4</sup>  
1 京都薬科大学 バイオサイエンス研究センター、2 ハムリー株式会社 京都事業所、  
3 タイヨー電機株式会社、4 清水実験材料株式会社
- P-4 熊本地震による CARD 新館 (実験動物施設) の被害状況と対応**  
○坂本 亘<sup>1</sup>、山内 寿十<sup>2</sup>、一村 憲司<sup>3</sup>、福田 静男<sup>4</sup>、坂口 香織<sup>1</sup>、中潟 直己<sup>1</sup>  
1 熊本大学 生命資源研究・支援センター、2 アーク・リソース株式会社、3 九動株式会社、  
4 株式会社ファビルス
- P-5 マウス管理システムの再構築と移行に関する技術的検討**  
○小林 喜美男  
理化学研究所 バイオリソースセンター マウス表現型解析開発チーム
- P-6 ビニールアイソレータにおける新たな滅菌方法の検討**  
○水澤 卓馬<sup>1</sup>、榊 昭雄<sup>2</sup>、植野 昌未<sup>1</sup>、今井 都泰<sup>1</sup>、小倉 智幸<sup>1</sup>、高橋 利一<sup>1</sup>  
1 公益財団法人 実験動物中央研究所、2 ファーマバイオインストルメント株式会社
- P-7 耐震対策におけるユーザーのリスクアセスメントの重要性  
—アイランド設置 IVC ラック導入 3 年後の使用報告—**  
○加藤 恒雄<sup>1</sup>、小林 英治<sup>2</sup>、高野 聡美<sup>3</sup>、六車 香織<sup>3</sup>、小木曾 昇<sup>3</sup>  
1 有限会社キョウエー、2 株式会社セノ、3 国立長寿医療研究センター 研究所 実験動物管理室
- P-8 飼育器材における光触媒技術の有用性について**  
○山口 一路<sup>1</sup>、富田 耕平<sup>1</sup>、高野 聡美<sup>2</sup>、六車 香織<sup>2</sup>、小木曾 昇<sup>2</sup>  
1 株式会社ケー・エー・シー、2 国立長寿医療研究センター 実験動物管理室
- P-9 ラットの長期飼育時における飼育環境が与える影響について**  
○富田 耕平<sup>1</sup>、山口 一路<sup>1</sup>、田邊 元<sup>1</sup>、高野 聡美<sup>2</sup>、六車 香織<sup>2</sup>、小木曾 昇<sup>2</sup>  
1 株式会社ケー・エー・シー、2 国立長寿医療研究センター 研究所 実験動物管理室
- P-10 ブタ・イヌ用多機能型体重測定ユニット**  
○藤田 順一<sup>1</sup>、高山 世絵梨<sup>1</sup>、内田 圭<sup>3</sup>、大林 茂男<sup>3</sup>、佐藤 央爾<sup>3</sup>、金子 岳<sup>4</sup>、松本 明<sup>2</sup>、石井 敬基<sup>1,2</sup>  
1 日本大学医学部 医学研究支援部門、2 日本大学医学部 医学研究企画・推進室、3 株式会社三幸  
4 有限会社新東洋製作所

- P-11 サル類を扱う動物施設での咬傷事故等における対応の紹介**  
 ○前田 典彦<sup>1</sup>、森本 真弓<sup>1,2</sup>、岡本 宗裕<sup>1</sup>  
 1 京都大学 霊長類研究所 人類進化モデル研究センター  
 2 京都大学 霊長類研究所 (犬山事業場衛生委員会)
- P-12 動物実験施設の換気風量適正化による省エネルギーへの取り組み**  
 ○安藤 博司<sup>1</sup>、國 麗子<sup>1</sup>、大澤 英之<sup>2</sup>、池田 健一<sup>2</sup>、尾崎 寿一<sup>3</sup>、奥村 浩<sup>1</sup>  
 1 協和発酵キリン株式会社 東京リサーチパーク 施設管理グループ、2 キリンエンジニアリング株式会社  
 3 株式会社ジェー・エー・シー
- P-13 緊急時における熊本大学生命資源研究・支援センターCARD 新館飼育管理窓口業務について**  
 ○坂口 香織<sup>1</sup>、坂本 亘<sup>1</sup>、一村 憲児<sup>1,2</sup>、高橋 郁<sup>1</sup>、岩本 まり<sup>1</sup>、山下 紀代子<sup>1,2</sup>、春口 幸恵<sup>1,2</sup>、近藤 朋子<sup>1,2</sup>  
 竹下 由美<sup>1,2</sup>、中牟田 裕子<sup>1,2</sup>、梅野 智子<sup>1,2</sup>、石田 恵理<sup>1,2</sup>、土山 修治<sup>1</sup>、中川 佳子<sup>1</sup>、竹尾 透<sup>1</sup>、中瀧 直己<sup>1</sup>  
 1 熊本大学生命資源研究・支援センター、2 九動株式会社
- P-14 高度封じ込め施設の構築に関する研究 (その1) 実験動物施設における気密性能**  
 ○谷 英明、高橋 幹雄、天野 健太郎、高橋 祐樹、横山 大造、柳 博通、沼中 秀一、日高 卓、山本 隼人  
 株式会社竹中工務店
- P-15 ~新規施設の紹介~**  
**大阪大学大学院医学系研究科 附属最先端医療イノベーションセンター中大動物実験施設**  
 ○橋川 美子<sup>1</sup>、福田 肇<sup>2</sup>、小薮 望<sup>1</sup>、梶川 幸子<sup>1</sup>、廣瀬 忠昭<sup>1</sup>、田島 優<sup>1</sup>  
 1 大阪大学医学系研究科附属最先端医療イノベーションセンター中大動物実験施設  
 2 ふくしま医療機器開発支援センター

## 実験手技・代替

- P-16 ラット新生仔低温麻酔時の放射温度計の利用**  
 ○井原 直樹、中津 勇、久米 歩未、後藤 浩彦  
 大塚製薬株式会社 徳島研究所 毒性研究部
- P-17 カテーテルを用いたマウス経口投与法の確立**  
 ○梅村 康士、植田 真司、中岡 政直、祝迫 隆行、宮脇 出、坂東 清子  
 大日本住友製薬株式会社 前臨床研究所
- P-18 ペントバルビタールナトリウムとメドミジン混合麻酔薬の麻酔効果と生体に及ぼす影響について**  
 ○武智 眞由美<sup>1</sup>、桐原 由美子<sup>1</sup>、黒崎 薫<sup>1</sup>、池田 紀之<sup>1</sup>、小林 裕太<sup>2</sup>  
 1 島根大学 研究・学術情報機構 総合科学研究支援センター 実験動物部門  
 2 島根大学 医学部 基礎看護学講座
- P-19 ビーグル犬における内視鏡を用いた胃排泄能評価**  
 ○中山 正樹、石原田 伸也、後藤 浩彦  
 大塚製薬株式会社 徳島研究所 毒性研究部
- P-20 マイクロミニピッグを用いた経口投与法の省力化及び前腕静脈からの採血検討**  
 ○山本 真史、牧野 歩美、石本 明宏、守永 太賀彦、池田 博信、伊藤 昭人、岡崎 勇、長尾 友子  
 飯高 健  
 日精バイリス株式会社 滋賀研究所
- P-21 毒性試験に使用予定のカニクイザルのトレーニングの検討**  
 ○鎌田 満稔、尾崎 晴茂  
 武田薬品工業株式会社 医薬研究本部 薬剤安全性研究所

## 育種・遺伝

### P-22 Cataract/Nakano マウスの繁殖コロニーの確立についてー続報ー

- 鶴見 東志子<sup>1</sup>、河相 晶子<sup>1</sup>、森石 永子<sup>2</sup>、佐々木 光穂<sup>1</sup>、小浦 美奈子<sup>1</sup>、鈴木 治<sup>1</sup>  
1 医薬基盤・健康・栄養研究所 疾患モデル小動物研究室、  
2 医薬基盤・健康・栄養研究所 アジュバント開発プロジェクト

## 繁殖・発生工学

### P-23 マウス胚の近距離輸送法の検討

- 大矢 康貴、大矢 久美子、能丸 幸治、渋谷 奎賛  
名古屋大学大学院 医学系研究科 附属医学教育研究支援センター 実験動物部門

### P-24 災害時における遺伝子改変マウス精子の凍結保存ー緊急時のバックアップ対策としてー

- 山下 紀代子<sup>1,2</sup>、春口 幸恵<sup>1,2</sup>、近藤 朋子<sup>1,2</sup>、竹下 由美<sup>1,2</sup>、中牟田 裕子<sup>1,2</sup>、梅野 智子<sup>1,2</sup>、石田 恵理<sup>1,2</sup>  
岩本 まり<sup>1</sup>、高橋 郁<sup>1</sup>、土山 修治<sup>1</sup>、中川 佳子<sup>1</sup>、坂本 亘<sup>1</sup>、坂口 香織<sup>1</sup>、竹尾 透<sup>1</sup>、中潟 直己<sup>1</sup>  
1 熊本大学 生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、2 九動株式会社

### P-25 X連鎖重症複合免疫不全症 (X-SCID) ラットの導入と繁殖の経験

- 山本 裕子、牛田 和夫、土橋 悠、小澤 和典、片平 清昭  
福島県立医科大学 医療-産業 TR センター

### P-26 体外成熟培地への $\beta$ -Nicotinamide mononucleotide ( $\beta$ -NMN) 添加がマウス卵子内 Sirt1 発現に及ぼす影響

- 安齋 政幸<sup>1</sup>、西村 愛美<sup>2</sup>、野田 義博<sup>3</sup>、東 里香<sup>4</sup>、中川 隆生<sup>5</sup>、小橋 朱里<sup>6</sup>、折杉 卓哉<sup>6</sup>、細井 美彦<sup>1,4,6</sup>  
1 近畿大学 先端技術総合研究所、2 関西医科大学 附属生命研究所、3 東京都健康長寿医療センター 研究所  
4 近畿大学大学院、5 株式会社紀和実験動物研究所、6 近畿大学生物理工学部

### P-27 超過剰排卵処理由来排卵卵子の応用

#### ー新鮮精子との体外受精、得られた胚の凍結保存・移植成績についてー

- 竹下 由美<sup>1,2</sup>、山下 紀代子<sup>1,2</sup>、春口 幸恵<sup>1,2</sup>、近藤 朋子<sup>1,2</sup>、中牟田 裕子<sup>1,2</sup>、梅野 智子<sup>1,2</sup>、石田 恵理<sup>1,2</sup>  
岩本 まり<sup>1</sup>、高橋 郁<sup>1</sup>、坂本 亘<sup>1</sup>、中川 佳子<sup>1</sup>、坂口 香織<sup>1</sup>、土山 修治<sup>1</sup>、竹尾 透<sup>1</sup>、中潟 直己<sup>1</sup>  
1 熊本大学 生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、2 九動株式会社

### P-28 超過剰排卵処理由来排卵卵子の応用

#### ー冷蔵精子との体外受精、得られた胚の凍結保存・移植成績についてー

- 梅野 智子<sup>1,2</sup>、山下 紀代子<sup>1,2</sup>、春口 幸恵<sup>1,2</sup>、近藤 朋子<sup>1,2</sup>、竹下 由美<sup>1,2</sup>、中牟田 裕子<sup>1,2</sup>、石田 恵理<sup>1,2</sup>  
岩本 まり<sup>1</sup>、高橋 郁<sup>1</sup>、坂本 亘<sup>1</sup>、中川 佳子<sup>1</sup>、坂口 香織<sup>1</sup>、土山 修治<sup>1</sup>、竹尾 透<sup>1</sup>、中潟 直己<sup>1</sup>  
1 熊本大学 生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、2 九動株式会社

### P-29 超過剰排卵処理由来排卵卵子の応用

#### ー凍結精子との体外受精、得られた胚の凍結保存・移植成績についてー

- 近藤 朋子<sup>1,2</sup>、山下 紀代子<sup>1,2</sup>、春口 幸恵<sup>1,2</sup>、竹下 由美<sup>1,2</sup>、中牟田 裕子<sup>1,2</sup>、梅野 智子<sup>1,2</sup>、石田 恵理<sup>1,2</sup>  
岩本 まり<sup>1</sup>、高橋 郁<sup>1</sup>、坂本 亘<sup>1</sup>、中川 佳子<sup>1</sup>、坂口 香織<sup>1</sup>、土山 修治<sup>1</sup>、竹尾 透<sup>1</sup>、中潟 直己<sup>1</sup>  
1 熊本大学 生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、2 九動株式会社

### P-30 トリプル CRISPR 法を用いた高効率な遺伝子ノックアウトマウス作出体制の実現

- 大野 怜一郎<sup>1</sup>、史 蕭逸<sup>1</sup>、戸根 大輔<sup>1</sup>、大出 晃士<sup>1</sup>、洲崎 悦生<sup>1,2</sup>、上田 泰己<sup>1,2</sup>  
1 東京大学大学院 医学系研究科 機能生物学専攻 システムズ薬理学教室  
2 理化学研究所 生命システム研究センター 合成生物学研究グループ

### P-31 新潟大学脳研究所動物資源開発研究分野におけるマウス胚操作ー実施状況ー

- 小田 佳奈子<sup>1</sup>、神保 幸弘<sup>1</sup>、前田 宜俊<sup>1</sup>、酒井 清子<sup>1</sup>、中尾 聡宏<sup>1</sup>、藤澤 信義<sup>1</sup>、佐藤 俊哉<sup>1,2</sup>  
横山 峯介<sup>1,3</sup>、笹岡 俊邦<sup>1</sup>  
1 新潟大学 脳研究所 動物資源開発研究分野、2 北里大学 医学部実験動物学、3 実験動物中央研究所

- P-32 新潟大学脳研究所動物資源開発研究分野におけるマウス凍結胚・凍結精子の学内共有システムの構築**  
 ○神保 幸弘<sup>1</sup>、小田 佳奈子<sup>1</sup>、前田 宜俊<sup>1</sup>、酒井 清子<sup>1</sup>、中尾 聡宏<sup>1</sup>、藤澤 信義<sup>1</sup>、佐藤 俊哉<sup>1,2</sup>  
 横山 峯介<sup>1,3</sup>、笹岡 俊邦<sup>1</sup>  
 1 新潟大学 脳研究所 動物資源開発研究分野、2 北里大学 医学部実験動物学、3 実験動物中央研究所
- P-33 ラット体外受精における脂肪酸の影響**  
 ○金井 富三夫<sup>1</sup>、多田 昇弘<sup>1,2</sup>  
 1 順天堂大学大学院 医学研究科 疾患モデル研究センター 遺伝子解析モデル研究室  
 2 順天堂大学大学院 医学研究科 アトピー疾患研究センター
- P-34 顕微授精による精子を介したマウスのゲノム編集**  
 ○後藤 元人<sup>1</sup>、相澤 竜太郎<sup>2</sup>、香川 貴洋<sup>1</sup>、山本 真史<sup>1</sup>、江藤 智生<sup>1</sup>、高橋 利一<sup>1</sup>  
 1 公益財団法人実験動物中央研究所、2 株式会社ジェー・エー・シー
- P-35 不活化 HVJ-膜タンパク質を用いた効率的な異種間核移植法の試み**  
 ○東 里香<sup>1</sup>、宮本 圭<sup>2</sup>、村井 仁志<sup>3</sup>、高見 一利<sup>4</sup>、小橋 朱里<sup>2</sup>、折杉 卓哉<sup>2</sup>、山田 雅保<sup>5</sup>、宮下 実<sup>6,7</sup>  
 細井 美彦<sup>1,2,6</sup>、安齋 政幸<sup>1,6</sup>  
 1 近畿大学大学院、2 近畿大学 生物理工学部、3 富山市ファミリーパーク、4 大阪市天王寺動物公園事務所  
 5 京都大学大学院、6 近畿大学 先端技術総合研究所、7 現・宇部市ときわ動物園
- P-36 キメラマウス作製に用いる宿主胚の基礎的検討**  
 ○江藤 智生<sup>1</sup>、上迫 努<sup>1</sup>、香川 貴洋<sup>1</sup>、相澤 竜太郎<sup>2</sup>、高橋 利一<sup>1</sup>  
 1 公益財団法人実験動物中央研究所、2 株式会社 JAC
- P-37 カニクイザルにおける精巣容積と精巣機能の関係について**  
 ○河本 育士<sup>1</sup>、吉田 暖<sup>1,2</sup>、中川 孝博<sup>1</sup>、土屋 英明<sup>1</sup>  
 1 滋賀医科大学 動物生命科学研究センター、2 一般社団法人予防衛生協会

## モデル動物

- P-38 加齢・老化モデルマウス育成のための適正な飼育環境の設定とその難しさ**  
 ○小木曾 昇<sup>1</sup>、六車 香織<sup>1</sup>、富田 耕平<sup>1,2</sup>、高野 聡美<sup>1</sup>、山口 一路<sup>1,2</sup>、松井 直美<sup>3</sup>、丸山 光生<sup>3</sup>  
 1 国立長寿医療研究センター 実験動物管理室、2 株式会社ケー・エー・シー  
 3 国立長寿医療研究センター 老化機構研究部
- P-39 皮膚における蛍光免疫複合体の斑点状の分布 (ASDIS) を指標とする新規マウスアレルギーモデル**  
 ○八巻 耕也、吉野 伸  
 神戸薬科大学 薬理学研究室
- P-40 急速進行性糸球体腎炎モデル SCG/ThpNkc マウスの繁殖成績及び血管炎の発症状態について**  
 ○河相 晶子<sup>1</sup>、鶴見 東志子<sup>1</sup>、小浦 美奈子<sup>1</sup>、鈴木 治<sup>1</sup>、鈴木 和男<sup>2</sup>、亀岡 洋祐<sup>2</sup>  
 1 医薬基盤・健康・栄養研究所 疾患モデル小動物研究室、2 A-CLIP 研究所
- P-41 高脂肪食飼育下の Min マウスの腸管ポリープ形成に対するアロエベラゲル超臨界抽出物の修飾作用**  
 ○千原 猛<sup>1</sup>、新保 寛<sup>1,4</sup>、別府 秀彦<sup>1</sup>、金児 孝晃<sup>1</sup>、東口 高志<sup>2</sup>、園田 茂<sup>1</sup>、田中 美順<sup>3</sup>、山田 宗夫<sup>3</sup>  
 阿部 文明<sup>3</sup>  
 1 藤田保健衛生大学 藤田記念七栗研究所 生化学研究部門  
 2 藤田保健衛生大学 医学部外科・緩和医療学講座、3 森永乳業株式会社 素材応用研究所  
 4 一般財団法人新居浜精神衛生研究所

## 生理・生化学

- P-42 C57BL/6J マウスの体重、血液（血液学的検査・血液生化学的検査）、器官重量に関する 12 カ月齢までの加齢変化**  
 ○山本 英明、小林 宏樹、佐藤 征直、川内 大助、寺居 和宏  
 日本チャールス・リバー株式会社



## 薬理・安全性

- P-43 各種マウス系統における潰瘍性大腸炎の検討**  
○美濃部 典子、松田 仁美、牧野 歩美、木村 恵人、飯高 健  
日精バイリス株式会社

## 微生物

- P-44 免疫不全マウス飼育室で経験したニューモシスチス感染症とその後の対策**  
○寺門 一郎、土屋 英明、中村 紳一郎  
滋賀医科大学 動物生命科学研究センター
- P-45 *Pasteurella pneumotropica* の感染事故対策と除菌効果の報告**  
○窪田 美津子<sup>1,2</sup>、王 振吉<sup>1,2,3</sup>、神谷 絵美<sup>1,2</sup>、太田 里美<sup>4</sup>、大麻 孝志<sup>4</sup>、杉村 俊英<sup>4</sup>、藤田 涼太郎<sup>4</sup>、  
廣江 猛<sup>1,2</sup>、伊藤 昭光<sup>1,2</sup>、浦野 徹<sup>1,2</sup>  
1 自然科学研究機構 生理学研究所、2 自然科学研究機構 動物実験センター  
3 総合研究大学院大学 生理学研究所、4 株式会社ケー・エー・シー
- P-46 日本チャールス・リバーの受託微生物モニタリングにおける特定病原体の検出状況(2011年-2015年)**  
○外岡 武士、西田 浩、久保村 華子、佐古 典久、丸山 滋  
日本チャールス・リバー株式会社

## 動物福祉

- P-47 デクスメトミジンをベースとしたマウスにおける新規バランス麻酔の確立**  
○塚本 篤士、川上 貴子、坂本 瑞歩、猪股 智夫  
麻布大学 獣医学部 実験動物学研究室
- P-48 老齢マウスにおける各種麻酔法の作用特性**  
○坂本 瑞歩、鯉淵 千春、塚本 篤士、猪股 智夫  
麻布大学 獣医学部 実験動物学研究室
- P-49 ウサギへの3種混合麻酔薬投与による麻酔効果の検討**  
○福田 直樹、伊藤 恒賢  
山形大学 医学部 メディカルサイエンス推進研究所 動物実験センター

## その他

- P-50 各種床敷材を用いた個別換気ケージ内のマウス飼育環境  
-その1 育成期 C57BL/6 マウスのケージ内環境-**  
○田中 大資、須藤 まゆみ、尾崎 順子、伊藤 恒賢  
山形大学 医学部 メディカルサイエンス推進研究所 動物実験センター
- P-51 各種床敷材を用いた個別換気ケージ内のマウス飼育環境  
-その2 高密度飼育 ICR マウスのケージ内環境-**  
○須藤 まゆみ、田中 大資、尾崎 順子、伊藤 恒賢  
山形大学 医学部 メディカルサイエンス推進研究所 動物実験センター
- P-52 各種床敷材を用いた個別換気ケージ内のマウス飼育環境-その3 ICR マウスの哺育ケージ内環境-**  
○伊藤 恒賢、田中 大資、須藤 まゆみ、尾崎 順子  
山形大学 医学部 メディカルサイエンス推進研究所 動物実験センター
- P-53 早期に実験が終了する搬入動物の検疫は必要か-マウス肝炎ウイルス (MHV) 感染を経験して-**  
○尾崎 順子、田中 大輔、福田 直樹、長橋 武、本間 貞明、伊藤 恒賢  
山形大学 医学部 メディカルサイエンス推進研究所 動物実験センター